

- 問1 法隆寺の金堂に安置されている釈迦三尊像に見られる、中央の釈迦如来と左右の脇侍を配置した形式や、中国の北魏様式の影響を受けた特徴を持つ文化の名称として最も適切なものを答えなさい。 (2021年 大阪府公立入試 類似)
1. 白鳳文化                      2. 天平文化                      3. 弘仁・貞観文化                      4. 飛鳥文化
- 問2 律令国家の形成過程において「公地公民」という原則が示された目的として、当時の社会状況を踏まえた説明として最も適切なものはどれですか。 (2023年 島根県公立入試 類似)
1. 仏教の教えに基づき、すべての土地は神仏のものであるとして、寺院が土地を管理する体制を作るため                      2. 農民の開墾意欲を高めるために、新しく耕した土地を永久にその人の私有地として認めるため                      3. 地方の豪族に一定の土地の支配権を残し、朝廷に協力的な姿勢をとらせることで内乱を防ぐため                      4. 豪族による土地や人民の私有を禁じ、朝廷が全国の土地と人民を直接把握することで、徴税や統治の基盤を固めるため
- 問3 大化の改新の中心人物であった中大兄皇子が、のちに即位して天智天皇となった際に、律令国家の基礎を築く目的で作成した日本最初の全国的な戸籍の名称として正しいものを選びなさい。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
1. 班田収授法                      2. 庚午年籍                      3. 庚寅年籍                      4. 十七条の憲法
- 問4 飛鳥時代において、聖徳太子（厩戸王）を摂政に任命し、協力して天皇を中心とした国づくりを進めた日本初の女性天皇は誰ですか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 天武天皇                      2. 天智天皇                      3. 持統天皇                      4. 推古天皇
- 問5 飛鳥時代末期の701年に、唐の制度を参考にして制定された、日本で最初の本格的な法典を何といいますか。 (2020年 東京都公立入試 類似)
1. 十七条の憲法                      2. 御成敗式目                      3. 建武式目                      4. 大宝律令
- 問6 古代日本の国家形成の過程において、天智天皇の後継をめぐる混乱を経て、中央集権的な統治が強化されたことを示す歴史上の出来事はどれか。 (2018年 岡山県公立入試 類似)
1. 白村江の戦い                      2. 保元の乱                      3. 壬申の乱                      4. 承久の乱
- 問7 7世紀後半、日本は唐や新羅による侵攻の脅威に備え、九州の大宰府周辺に「水城（みづき）」と呼ばれる大規模な土塁や、山城（朝鮮式山城）を築きました。これらの防御施設の築城にあたって、高度な土木技術を伝え、建設を指導した渡来人たちは、どこの国から来た人々が中心であったとされていますか。 (2021年 滋賀県公立入試 類似)
1. 高麗                      2. 新羅                      3. 百濟                      4. 渤海
- 問8 645年に中臣鎌足らと協力して蘇我氏を倒し、土地や人々を国家が直接支配する「公地公民」の仕組みを導入するなど、天皇中心の国づくりを目指した人物は誰ですか。 (2020年 茨城県公立入試 類似)
1. 徳川家康                      2. 聖徳太子                      3. 中大兄皇子                      4. 足利尊氏
- 問9 7世紀から8世紀にかけて、日本が天皇を中心とした中央集権的な国家体制（律令国家）を形成していく歴史的な流れを、時系列に沿って正しく説明しているものはどれですか。 (2019年 佐賀県公立入試 類似)
1. 大宝律令の完成によって国家の仕組みが整った後、その基本精神を広めるために聖徳太子が十七条の憲法を制定し、さらに中大兄皇子が大化の改新を断行した。                      2. 中大兄皇子らが大化の改新によって蘇我氏を倒した後、聖徳太子が大陸の制度を取り入れた冠位十二階を制定し、それらが最終的に大宝律令としてまとめられた。                      3. 聖徳太子が冠位十二階や十七条の憲法を定めて天皇の権威を高め、その後、中大兄皇子らが大化の改新を開始し、8世紀初頭に大宝律令が完成して体制が整った。                      4. 聖徳太子が十七条の憲法を制定した直後、これに反発した中大兄皇子らが大化の改新を起こして律令国家を否定したが、8世紀に再び大宝律令が制定された。
- 問10 法隆寺の建築に見られる特徴や背景について説明したものとして、歴史的事実に基づき最も適切な記述を選んでください。 (2024年 愛媛県公立入試 類似)
1. 室町時代の文化背景をもとに、現代の和風建築の原型となった「書院造」の様式で建てられている。                      2. 鎌倉時代に武士の間で流行した禅宗の影響を受け、装飾を排した質実剛健な造りとなっている。                      3. 平安時代の貴族たちが好んだ日本独自の様式である「寝殿造」を取り入れ、庭園との調和を重視している。                      4. 中国や朝鮮半島など大陸からの影響を強く受けた、日本で最初の本格的な仏教文化の特色を色濃く残している。
- 問11 天武天皇の時期に作成が開始された「庚午年籍」などの戸籍は、中央集権体制を築く上でどのような目的で作成されましたか。その目的として最も適切な説明を選びなさい。 (2022年 香川県公立入試 類似)
1. 人民の居住地や氏姓を把握し、税の徴収や徴兵を確実に行うための基礎とするため                      2. 地方の豪族に対して土地の私有権を認め、その忠誠を確保するため                      3. 仏教による国家の安定を目指し、全国の寺院と僧侶の数を管理するため                      4. 諸外国との交易を円滑にするため、都市部の商人層の構成を調査するため
- 問12 645年に始まった政治改革の資料において、中大兄皇子や中臣鎌足が蘇我氏を打倒し、新たな政治体制を築こうとする記述が見られます。この一連の改革によって日本で初めて元号が導入された背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2019年 熊本県公立入試 類似)
1. 天皇が国の主権者として時間を支配することを示し、中央集権国家の威信を内外に宣言するため。                      2. 蘇我氏が代々使用してきた独自の暦を廃止し、仏教の教えに基づいた新しい時間管理を行うため。                      3. 有力な豪族たちが交代で元号を決める権利を持つことで、貴族政治の安定を図るため。                      4. 中国の唐に対して完全な服従を誓い、唐と同じ元号を使用することで安全保障を得るため。
- 問13 7世紀初め、聖徳太子（厩戸王）は中国の王朝との対等な外交を求め、進んだ制度や文化を取り入れるために使節を派遣しました。この使節の名称と、代表として派遣された人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2026年 秋田県公立入試 類似)
1. 遣明使として派遣された足利義満                      2. 遣唐使として派遣された阿倍仲麻呂                      3. 遣隋使として派遣された小野妹子                      4. 遣唐使として派遣された鑑真